Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

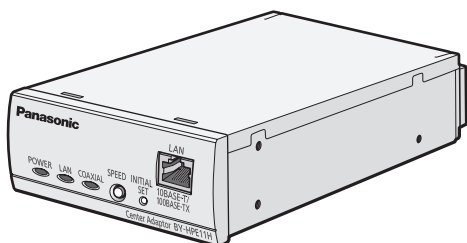
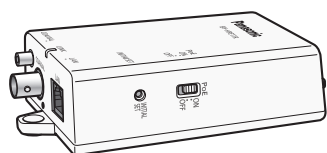
PoE給電機能付　同軸–LANコンバーター 屋内専用

品番　BY-HPE11KT

もくじ

はじめに

工事

その他

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ､正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（6〜11ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は既存の同軸ケーブルを利用し、少ない初期投資で長距離伝送や高速通信などのデジタルデータ伝送が実現できる同軸-LANコンバーターです。また、当社製指定ネットワークカメラへ電源を供給できるPoE給電機能付きで、カメラ電源工事が不要です。

メモ
- PoE切替スイッチで本機のPoE給電機能のON/OFFを切り替えることができます。
  接続可能なネットワークカメラの情報については、パナソニックのウェブサイト（http://panasonic.biz/netsys/coax）を参照してください。

主な機能

PoE給電機能付（Power over Ethernet。以下、PoE）

本機のPoE給電機能をお使いの場合は、カメラ電源工事が必要ありません。（IEEE802.3af準拠）

長距離伝送が可能

PoE給電機能あり：500 m※1、PoE給電機能なし：2.0 kmの長距離伝送ができます。（同軸ケーブル5C-2V使用時）

高速通信が可能

実効速度でTCP※2：35 Mbps以上、UDP：45 Mbps以上（同軸ケーブル5C-2V使用時、通信距離2.0 km以下）の高速通信ができます。

設定が不要

同軸ケーブルの両端に本機を接続するだけで通信を開始します。設定の必要はありません。

※1 当社製指定ネットワークカメラ接続時。他のネットワークカメラ接続時は300 mになります。
※2 Linux® のFTPでの測定値です。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）........................ 1冊
保証書.. 1式

電源コード..................................... 1本

以下の付属品は取付工事に使用します。
安全ワイヤー 1本
BNCコネクターカバー................ 2個
本体連結金具 1個
木ねじ.. 3本
ねじ.. 3本
皿ねじ.. 4本

取扱説明書について

- 本書では、操作のしかた、設置・接続のしかたについて説明しています。
- 本書では、BY-HPE11Rをカメラ側アダプター、BY-HPE11Hをセンター側アダプターと表記しています。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標および商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

● この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
● 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
※ 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

①本機を経由した情報の漏えいや流出
②悪意を持った第三者による本機の不正操作
③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューター（以下、PC）が接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

カメラ側アダプターとセンター側アダプター間のセキュリティについて

- データはAES128 bit暗号化方式で保護されています。ただし、第三者による傍受に対して、セキュリティを保証するものではありません。
- 本機を譲渡･廃棄するときや修理に出すときは、初期化してください。（32ページ）
- 本機にはファイヤウォール機能がありません。インターネットに接続して使用する場合は、ルーターやPCなどの機器に対してセキュリティ設定を行うことをお勧めします。また、本機のパスワードを工場出荷値から変更していない場合、第三者により意図せぬ設定変更が行われるおそれがあるため、パスワード変更をお勧めします。（43ページ）

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない

〔傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など〕

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- プラグの修理は、販売店へご相談ください。

⚠ 警告

異常があるときは、すぐに使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

● 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

● 修理や点検は、販売店に連絡してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグのほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグの差込部分に金属を近づけない

火災や感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグを抜き差しするときはプラグ（金属でない部分）を持つ

感電の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

雷が鳴ったら本機・電源コード・電源プラグ・接続ケーブルに触れない

感電の原因となります。

電源コードの接続部をこの機器以外に接続しない

火災・感電の原因となります。

付属の電源コードは、他の製品に使用しない

火災・感電の原因となります。

専用の電源コード以外は使用しない

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

⚠警告

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

総質量に耐える場所に取り付ける

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

可燃性ガスの雰囲気中で使用しない

爆発によるけがの原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

落下防止対策を施す

落下によるけがの原因となります。

- 安全ワイヤーを必ず取り付けてください。

振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。

落とさない、強い衝撃を与えない

けがや火災の原因となります。

配線は電源を切ってから行う

感電の原因となります。
また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

⚠警告

専用の取付金具を使用する

落下によるけがや事故の原因となります。

● 設置の際は、専用取付金具を使用してください。

同軸ケーブルを傷つけない、導体部に異物を浸入させない、不完全な中継や接続をしない

水などが導体部に入ったり、不完全な中継や接続をすると、火災や感電の原因となります。

● 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

設置・配線工事の際の壁や天井への穴あけや、ケーブルを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない

漏電・感電・火災などの原因となります。

医療機器の近くでの設置や使用をしない

本機からの高周波信号が、医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

本機をぬらさない

近くに花びん・コップなどを置かないでください。発火・感電の原因となります。

● ぬらした場合は、プラグを抜いて販売店へご相談ください。

同軸ケーブルの芯線に触れない

感電の原因となります。

● 同軸ケーブルには最大DC60 Vの電圧がかかります。

⚠警告

雷のときは工事・配線をしない

火災や感電の原因となります。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

⚠注意

長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ずセンター側アダプターの電源プラグをコンセントから抜く

漏電・感電・けがの原因となることがあります。

ケーブルを引っ張ったり、コネクター部に無理な力を加えない

破損や感電の原因となることがあります。

火気を近づけない

火災の原因となることがあります。

強度の弱い天井や壁には取り付けない

〔石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ 25 mm 以下のベニヤ板など。〕

落下して、けがの原因となることがあります。

● 取り付けるときは、本体を十分に支えられ、振動がなく強度のある天井や壁に確実に取り付けてください。

本機のBNCコネクター端子に他の製品を接続しない

破損の原因となることがあります。

使用上のお願い

⚠警告 ⚠注意 に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は屋内専用です。屋外（軒下なども含む）では使用しないでください。

本機は、アマチュア無線、短波放送、航空無線、海上無線、電波を使用した天文観測などと同じ高周波信号を利用しており、これらの無線設備の近傍で使用した場合、これらの業務妨害となる可能性があります。

カメラ側アダプター（BY-HPE11R）は通信事業者の設備（レンタルのモデムなど）に接続しないでください。法律で禁じられています。

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。
（推奨温度35 ℃以下）
設置場所の放熱および暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

本機を譲渡・廃棄や修理される場合

譲渡・廃棄、修理などで本機が第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。

お手入れは

センター側アダプターの電源を切ってから、行ってください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。

汚れがひどいときは

水を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI－A

設置上のお願い

電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。
工事は販売店に依頼してください。
設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。
  長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

医療機器の近くでの設置や使用をしない

本機からの高周波信号が、医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

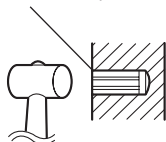
設置場所について

- 次のような場所には設置しないでください。
  - 雨や水が直接かかる場所
    （軒下なども含む）
  - プールなど薬剤を使用する場所
  - 湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
  - 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
  - 放射線やＸ線および強力な電波や磁気の発生する場所
  - 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
  - 使用周囲温度・湿度を超える場所
    カメラ側アダプター（BY-HPE11R）
    　温度：－10 ℃～＋50 ℃
    　湿度：20 %～90 %
    センター側アダプター（BY-HPE11H）
    　温度：0 ℃～＋50 ℃
    　湿度：20 %～85 %
  - 車両や船舶などの振動が多い場所
    （本機は車載用ではありません）
  - エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所
- **使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。**
- **電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。**

設置作業の前に

- カメラ側アダプターを天井や壁面に取り付ける場合は、20ページに記載されている木ねじを使用してください。取付場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。
- 20ページに記載している木ねじを取り付ける場合は、カメラ側アダプターの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところに取り付けてください。厚さが25 mm以上ない、または梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。
- 天井または壁の材質がモルタルやコンクリートの場合は、市販のドリルと天井または壁取り付け専用のアンカー（ねじの呼び径 4.0 mm）を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。
  ① カメラ側アダプターを設置する位置に合わせ、ねじ穴から印を付ける（2か所）

はじめに

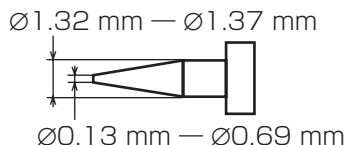
②安全ワイヤーを取り付ける位置に印を付ける
③印に合わせ、ドリルで穴をあける
※モルタルに穴をあける場合は、古い天井や壁が落ちることがあります。注意して穴をあけてください。

④アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたく
⑤カメラ側アダプターと安全ワイヤーを木ねじで固定する
- 設置する面および使用するアンカーやねじは、十分な強度を確保してください。

ねじの締め付けについて
- ねじは、取付場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは、使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

落下防止対応について
安全ワイヤーは、万一、本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように取り付けてください。

同軸ケーブルについて
- 何も接続されていない状態で同軸ケーブル（既設または新設）の絶縁抵抗を必ず測定してください。
  絶縁抵抗値：DC500 Vにて
  1 MΩ以上
- 本機のPoE給電機能を使用する場合は、同軸ケーブルの長さを確認してください。同軸ケーブルの最大距離は、5C-2Vで500 m（ループ抵抗値20 Ω以下）です。
- 同軸ケーブルは5C-2Vをお勧めします。
- 同軸ケーブルを中継すると、性能が劣化することがあります。
- 同軸ケーブルは指定の規格合格品を使用してください。
  適合プラグ：JIS C 5412
  ※規格番号末尾は改定されている場合があります。

・**市販の同軸ケーブル（BNCプラグ付き）**

・**推奨適合プラグピン形状**

重要

- 指定外のプラグを使用した場合、接触不良や本機のBNCコネクター端子を破損する可能性がありますので、適合したプラグを使用してください。

設置・接続について

- カメラ側アダプターを上下に重ねて配置しないでください。通信干渉の原因となります。同じ場所に設置したい場合は、左右に配置してください。
- 本機に同軸ケーブルを接続する際は、同軸ケーブルに他の機器が接続されていないことを十分に確認してください。
  他の機器（当社製CCTVカメラなど）が接続されている同軸ケーブルに本機を接続すると、他の機器が故障する原因となります。

各部の名前とはたらき

＜カメラ側アダプター　BY-HPE11R＞

正面

インジケーター
本機の動作状況を表します。（18ページ）

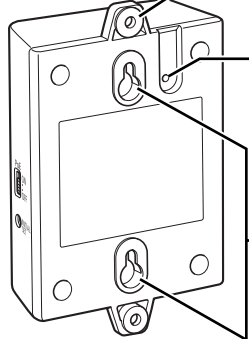
PoE切替スイッチ
本機のPoE給電機能のON/OFFを切り替えます。
お買い上げ時は「ON」になっています。

重要
- 本機のPoE給電機能を使ってネットワークカメラに電源を供給する場合は「ON」にしてください。
本機のPoE給電機能を使わずにネットワークカメラに電源を供給する場合（ACアダプターを接続するとき）は「OFF」にしてください。
- 通信距離が500 mを超える場合は本機のPoE給電機能は使用できません。PoE切替スイッチを「OFF」にしてください。

INITIAL SETボタン
本機を工場出荷状態（初期化）に戻します。（32ページ）

ネットワーク端子
本機とネットワークカメラをEthernetケーブルで接続します。（27ページ）

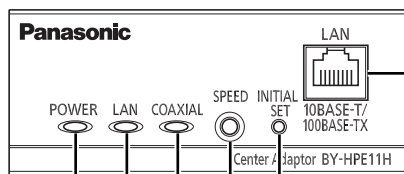
BNCコネクター端子
本機とセンター側アダプターを同軸ケーブルで接続します。（28ページ）

背面

天井面や壁面に木ねじなどで取り付ける場合に使います。（20ページ）

安全ワイヤーを取り付けます。（19ページ）

JIS スイッチボックスのねじ穴を利用して取り付ける場合に使います。

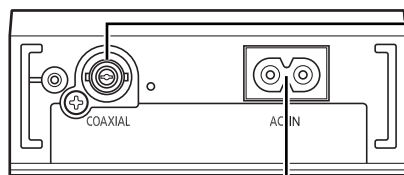
＜センター側アダプター　BY-HPE11H＞

正面

ネットワーク端子
本機とネットワーク機器をEthernetケーブルで接続します。（29ページ）

INITIAL SETボタン
本機を工場出荷状態（初期化）に戻します。（33ページ）

SPEEDボタン
アダプター間の通信速度を測定するときに使います。（30ページ）

インジケーター
本機の動作状況を表します。（18ページ）

背面

BNCコネクター端子
本機とカメラ側アダプターを同軸ケーブルで接続します。（29ページ）

電源コード差込口
付属の電源コードを接続します。（30ページ）

● **インジケーターの動作について**
本機の動作状況によりインジケーターの点灯状態は変わります。

<カメラ側アダプター>

インジケーター	点灯状態	表示内容
LINK	緑（点灯）	センター側アダプターと接続されています。
	オレンジ（点灯）	本機が起動中です。
	赤（点灯）	故障です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
	消灯	センター側アダプターの電源が入っていません。または同軸ケーブルが接続されていません。

<センター側アダプター>

インジケーター	点灯状態	表示内容
POWER	緑（点灯）	本機が動作中です。
	緑（点滅）	同軸ケーブルにカメラ側アダプター以外の機器がつながっている可能性があります。カメラ側アダプターの接続を確認してください。
	消灯	本機の電源が入っていません。
LAN	緑（点灯）	ネットワーク機器が接続されています。
	緑（点滅）	ネットワーク機器とデータを送受信中です。
	オレンジ（点灯）	ネットワーク機器が接続されていません。または接続したネットワーク機器の電源が入っていません。
	消灯	本機の電源が入っていません。
COAXIAL	緑（点灯）	カメラ側アダプターと接続されています。
	赤（点灯）	故障です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
	消灯	本機の電源が入っていません。または同軸ケーブルおよびカメラ側アダプターが接続されていません。

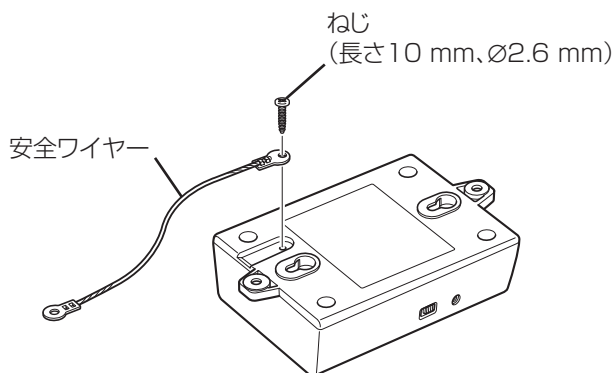
設置する

カメラ側アダプターを取り付ける

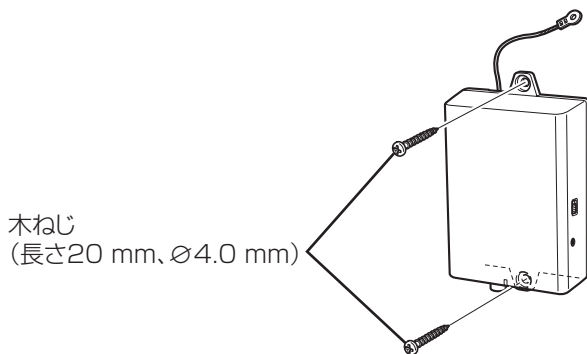
重要

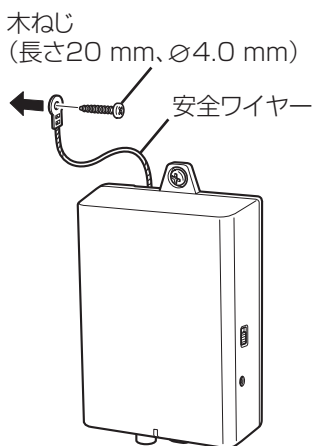
- カメラ側アダプターの質量に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- カメラ側アダプターおよび安全ワイヤーは、建築物の基礎部分または十分な強度がある部分に取り付けてください。
- 必ず安全ワイヤーは取り付けてください。取り付けは、お買い上げの販売店に依頼してください。
- カメラ側アダプターを上下に重ねて配置しないでください。通信干渉の原因となります。同じ場所に設置した場合は、左右に配置してください。
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり294 N（30 kgf）以上必要です。

1 カメラ側アダプターに付属のねじで安全ワイヤーを取り付ける（推奨締付トルク 0.4〜0.8 N·m {4.1〜8.2 kgf·cm}）

工事

【次ページへつづく】

2 付属の木ねじでカメラ側アダプターを天井または壁にしっかりと固定する

- 付属の木ねじは、木質の天井または壁用です。木質の天井または壁以外に取り付ける場合は、その材質に合ったねじを使用してください。

3 安全ワイヤーをたるませて、付属の木ねじで天井または壁に取り付ける

- 付属の木ねじは、木質の天井または壁用です。木質の天井または壁以外に取り付ける場合は、その材質に合ったねじを使用してください。
- 万一、本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように安全ワイヤーを取り付けてください。

センター側アダプターをラックに取り付ける

センター側アダプターをラックマウント金具（別売り）を使用し、2～4台を連結した状態でラックに取り付けることができます。

センター側アダプターを取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

- スタンダードラック：品番WU-RS80（当社製、収納ユニット数29U）
- ロングラック：品番WU-RL85（当社製、収納ユニット数41U）
- EIA規格相当品（他社製）：EIA19型

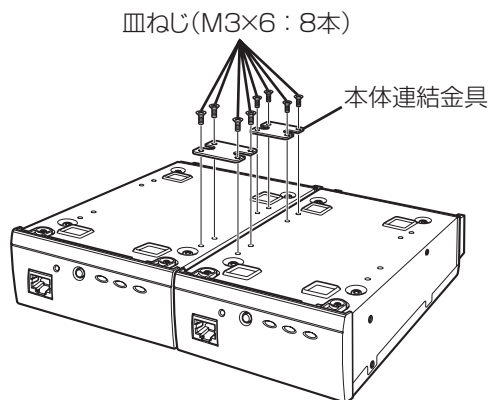
メモ

- 当社製ラックに取り付ける場合は、別売りのラック取付ねじ（呼び径5タッピング）が必要です。
- 他社製ラックに取り付ける場合は、別売りのラック取付ねじ YBSNG003、またはM5×12ねじ（4本）が必要です。ラック取付ねじ（呼び径5タッピング）を使用すると、ラック取付部のねじ山を壊す恐れがあります。

<2 台をラックマウントするとき >

1 付属の本体連結金具でセンター側アダプターを連結する
（推奨締付トルク 0.4～1.0 N·m {4.1～10.2 kgf·cm}）

【次ページへつづく】

工事

2 センター側アダプター両側面にラックマウント金具（別売り：下記参照）を取り付ける
（推奨締付トルク 0.4～1.0 N·m {4.1～10.2 kgf·cm}）
2台取付時：品番YBSKG024
- 取付金具（大）×1
- 取付金具（小）×1
- 金具取付ねじ（M3×6：6本）

3 センター側アダプターをラックに取り付ける
- ラック取付ねじで確実に固定してください。

- ラック設置時は、ラック内温度が30 ℃以下におさまるよう、ファンなどの取り付けをお勧めします。

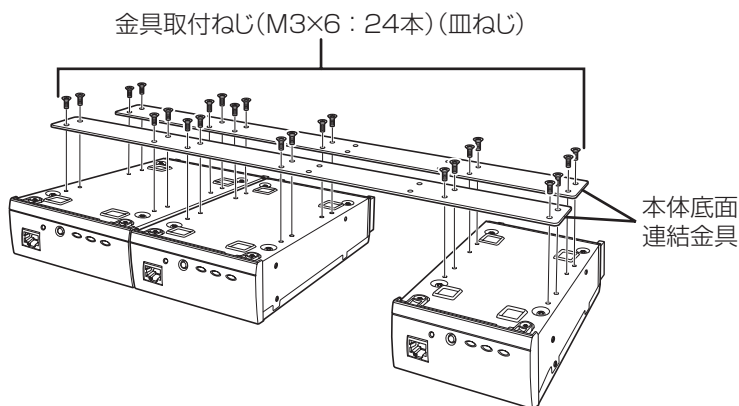
重要
- ラック内の温度は、45 ℃以上にならないようにしてください。
- センター側アダプターをラックに取り付けるときは、本機の上下に1U（44 mm）以上の間隔をあけてください。

<3 台または 4 台をラックマウントするとき >

1 センター側アダプター両側面にラックマウント用連結金具（別売り：下記参照）を取り付ける

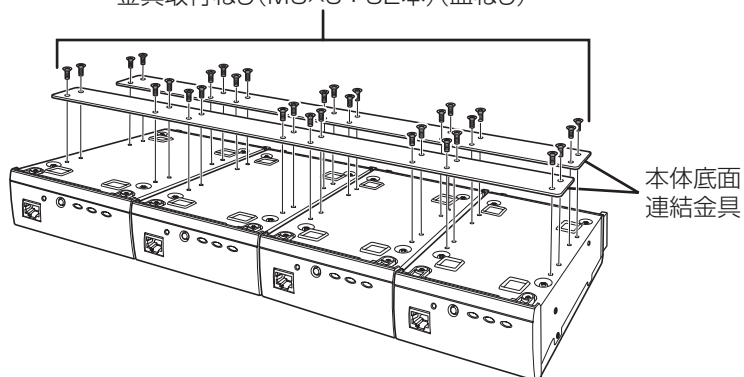
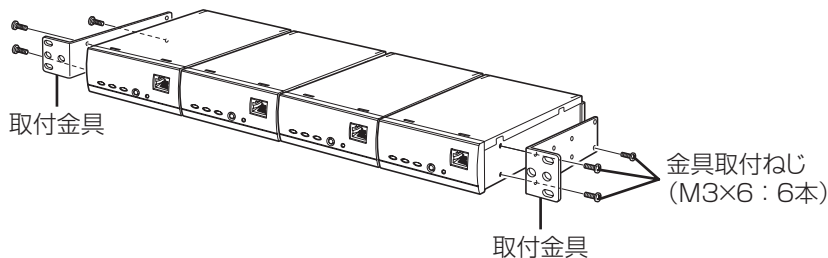
- 取付ねじで確実に固定してください。
  3台または4台取付時：品番BY-HCA10
  - 取付金具×2
  - 本体底面連結金具×2
  - 金具取付ねじ（M3×6：32本）（皿ねじ）
  - 金具取付ねじ（M3×6：6本）

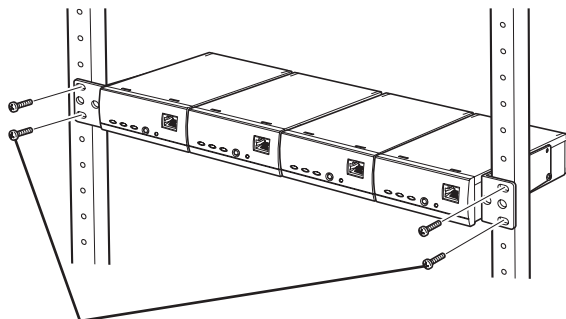
重要
- 必ず付属のねじをお使いください。

①本体底面連結金具でセンター側アダプターを連結します。
- 3台設置時
  （推奨締付トルク 0.4～1.0 N·m {4.1～10.2 kgf·cm}）

※左右端どちらかに1台を寄せて連結してください。

工事

【次ページへつづく】

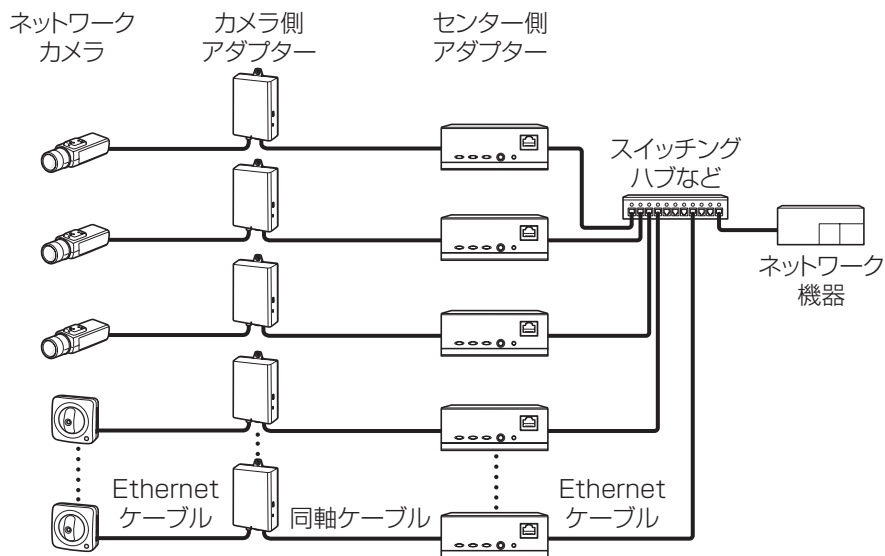
● 4台設置時
（推奨締付トルク 0.4〜1.0 N·m {4.1〜10.2 kgf·cm}）

② センター側アダプター両側面に取付金具を取り付けます。
（推奨締付トルク 0.4〜1.0 N·m {4.1〜10.2 kgf·cm}）

2 センター側アダプターをラックに取り付ける

- ラック取付ねじで確実に固定してください。

ラック取付ねじ
当社製ラックの場合:呼び径5タッピング
他社製ラックの場合:YBSNG003、またはM5×12ねじ

- ラック設置時は、ラック内温度が30 ℃以下におさまるよう、ファンなどの取り付けをお勧めします。

重要
- ラック内の温度は、45 ℃以上にならないようにしてください。
- センター側アダプターをラックに取り付けるときは、本機の上下に1U（44 mm）以上の間隔をあけてください。

接続する

接続例

※ ネットワークカメラとカメラ側アダプターはEthernetケーブルで接続します。
※ カメラ側アダプターとセンター側アダプターを同軸ケーブルで接続します。
※ センター側アダプターとネットワーク機器はEthernetケーブルで接続します。

- Ethernetケーブルはカテゴリー5e以上をお勧めします。とくに、PoE規格対応ネットワークカメラをカメラ側アダプターに接続する場合は、ISO/IEC 11801-2002で規定された100Ωbalancedのものを使用してください。(IEEE802.3af Annex 33B)

重要

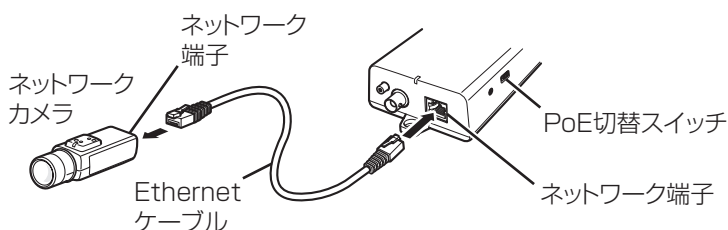
- Ethernetケーブルは4対（8ピンすべて）を使用してください。
  ＜推奨ケーブル＞ パナソニック電工株式会社製
  エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533
  シリーズ（2010年3月現在）
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE電源供給装置から電源が供給されない場合があります。
- 他のネットワークカメラに接続する場合、EthernetケーブルのクロスケーブルではPoE給電ができないことがあります。あらかじめネットワークカメラの仕様を確認してください。

工事

接続する

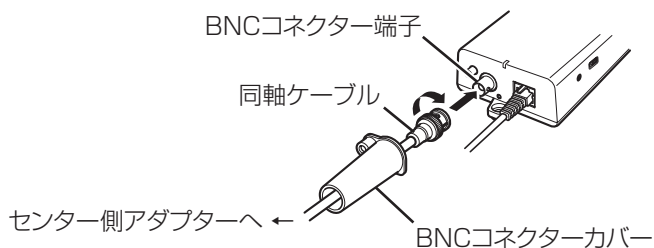
接続する前に本機や接続する機器の電源を切ってください。
また、必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。
Ethernetケーブルと同軸ケーブルは別途調達してください。

重要
- センター側アダプターの電源プラグは必ずすべての接続が終わってから、最後に差し込んでください。

1 カメラ側アダプターのネットワーク端子とネットワークカメラのネットワーク端子をEthernetケーブル（カテゴリー5e以上）で接続する

重要
- 本機のPoE給電機能を使ってネットワークカメラに電源を供給する場合はPoE切替スイッチを「ON」にしてください。
  本機のPoE給電機能を使わずにネットワークカメラに電源を供給する場合（ACアダプターを接続するとき）はPoE切替スイッチを「OFF」にしてください。
- 通信距離が500 mを超える場合は本機のPoE給電機能は使用できません。PoE切替スイッチを「OFF」にしてください。

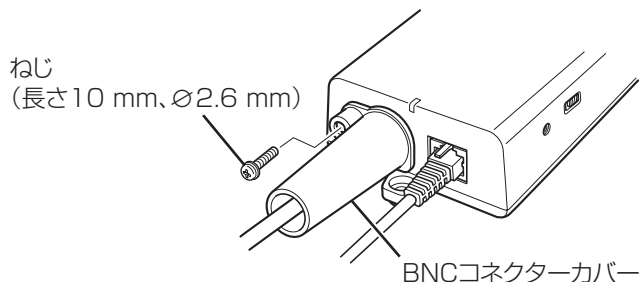
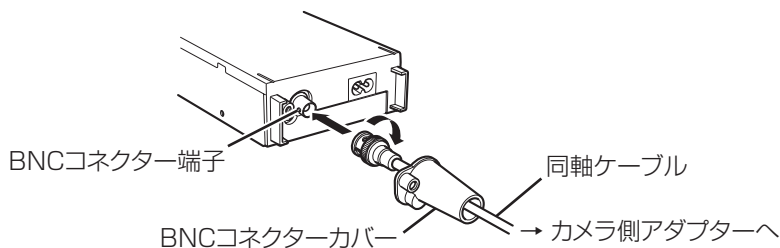
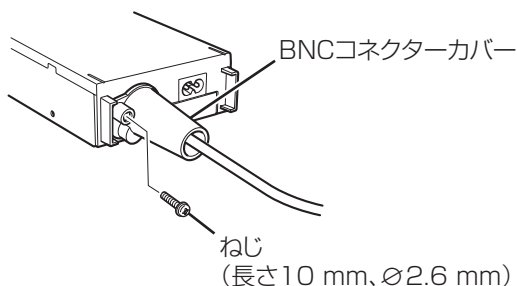
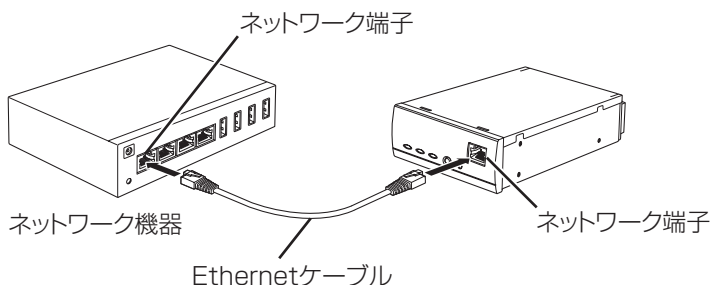
工事

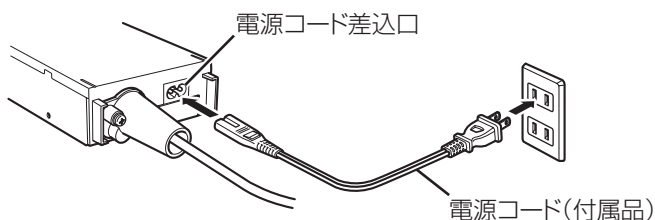
【次ページへつづく】

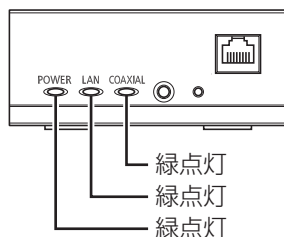
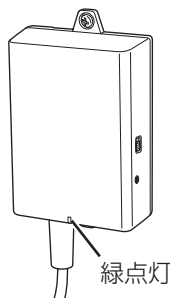
2 先に同軸ケーブルを付属のBNCコネクターカバーに通し、カメラ側アダプターのBNCコネクター端子に同軸ケーブルを接続する

重要

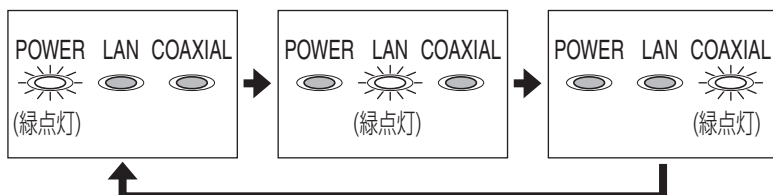
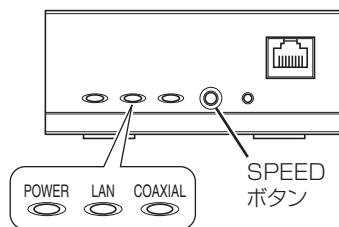
- 本機に同軸ケーブルを接続する際は、同軸ケーブルに他の機器が接続されていないことを十分に確認してください。他の機器（当社製CCTVカメラなど）が接続されている同軸ケーブルに本機を接続すると、他の機器が故障する原因となります。
- 既設の同軸ケーブルの場合は、接続前に同軸ケーブルから他の機器を取り外してください。
- 接続前に同軸ケーブル（既設または新設）の絶縁抵抗を必ず測定してください。
  絶縁抵抗値：DC500 Vにて1 MΩ以上
- 本機のPoE給電機能を使用する場合は、同軸ケーブルの長さを確認してください。同軸ケーブルの最大距離は、5C-2Vで500 m（ループ抵抗値20 Ω以下）です。

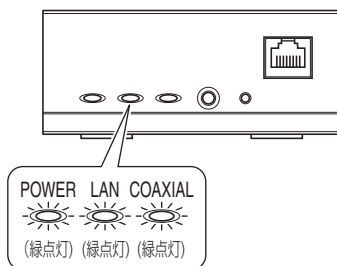
3 BNCコネクターカバーを付属のねじでカメラ側アダプターに固定する
（推奨締付トルク 0.4～0.8 N·m {4.1～8.2 kgf·cm}）

工事

4 先に同軸ケーブルを付属のBNCコネクターカバーに通し、センター側アダプターのBNCコネクター端子に同軸ケーブルを接続する

5 BNCコネクターカバーを付属のねじでセンター側アダプターに固定する（推奨締付トルク 0.4～0.8 N·m {4.1～8.2 kgf·cm}）

6 センター側アダプターのネットワーク端子とネットワーク機器をEthernetケーブル（カテゴリー5e以上）で接続する

【次ページへつづく】

7 センター側アダプター背面の電源コード差込口に付属の電源コードを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込む

※ 電源コンセントに近い場所に設置してください。また、電源プラグの抜き差しの妨げにならないよう、電源コンセントの近くには物を置かないでください。

8 ネットワークカメラやネットワーク機器の電源を入れ、それぞれのインジケーターを確認する

9 センター側アダプターのSPEEDボタンを、約1秒間押す

● カメラ側アダプターとセンター側アダプター間の通信速度を測定します。測定中は、センター側アダプターのインジケーターが以下の順に点灯します。

10 センター側アダプターのインジケーターが3つとも点灯（約6秒間）することを確認する

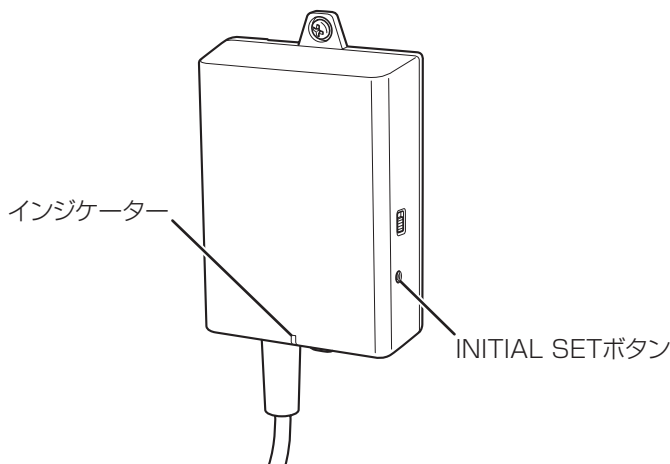
工事

本機を初期化する

本機を他人に譲渡するとき、修理に出すとき、廃棄するときは、初期化してください。

<カメラ側アダプターを初期化するとき>

カメラ側アダプターは、センター側アダプターと同軸ケーブルで接続され、センター側アダプターの電源が入っている状態で初期化してください。

1 カメラ側アダプターのINITIAL SETボタンを約3秒間押し続ける

● インジケーターが緑点滅を開始します。

2 カメラ側アダプターのインジケーターが緑点灯する

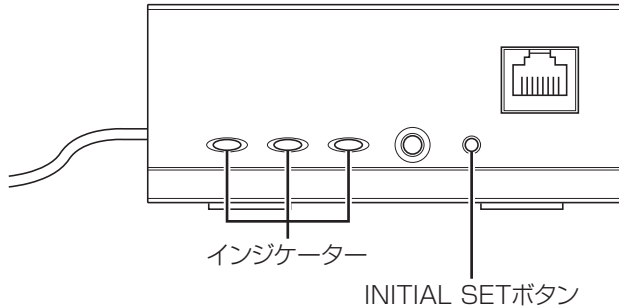
● インジケーターが緑点滅からオレンジ点滅に変化し、そのあと緑点灯すると初期化は終了です。ただし、接続状況によっては、オレンジ点滅とオレンジ点灯を繰り返したあと緑点灯することがあります。

重要

● 初期化中および初期化後、約30秒間はセンター側アダプターの電源プラグ、同軸ケーブルを抜かないでください。内部情報の初期化が終了していないことがあります。

< センター側アダプターを初期化するとき >

1 センター側アダプターのINITIAL SETボタンを約3秒間押し続ける

- すべてのインジケーターが緑点滅します。

2 センター側アダプターのすべてのインジケーターが緑点灯する

- すべてのインジケーターが緑点滅したあと緑点灯すると初期化は終了です。

重要

- 初期化後、約30秒間はセンター側アダプターの電源プラグを抜かないでください。内部情報の初期化が終了していないことがあります。

その他

設定画面を使う

本機のネットワーク端子に接続された PC のウェブブラウザーで設定画面を表示させます。

設定画面では、バージョンアップ、状態の確認、IP アドレス・パスワードの変更などができます。

重要

- すでに設置・接続済みのものの設定画面を表示させる場合は、カメラ側アダプターまたはセンター側アダプターのEthernetケーブルをPCに直接、接続してください。
- 本機の設定画面を表示するにはPCのIPアドレスを一時的に変更する必要があります。
  PCのIPアドレスを設定して使用している場合には、IPアドレスを変更する前にもとのIPアドレスをメモすることをお勧めします。
- **設定画面での操作終了後は、もとのIPアドレスに戻してください。**
- 本機のバージョンアップをする場合は、PCのIPアドレスを変更する前に、最新のファームウェアをPCにダウンロードしておいてください。
  ファームウェアは、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/netsys/coax/support）からダウンロードできます。

アダプターの設定画面を表示する

■ PC の IP アドレスを一時的に変更する

本機の設定画面を表示するにはPCのIPアドレスを一時的に変更します。
PCのIPアドレスの変更方法は、OSにより異なります。

その他

< Windows 7 の場合 >

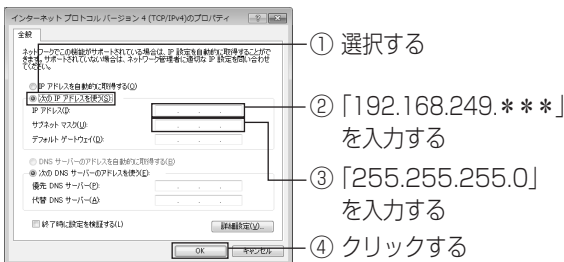
Microsoft® Windows® 7では､｢Administrator｣または同等の権限をもつユーザー名でログオンしてください。（ユーザー権限についての詳細はOSの取扱説明書をお読みください）

1 「スタート」メニューで「コントロールパネル」ー「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択する

2 「アクティブなネットワークの表示」ー「ローカル エリア接続」をクリックする

3 「ローカル エリア接続の状態」で「プロパティ」ボタンをクリックする

4 「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする

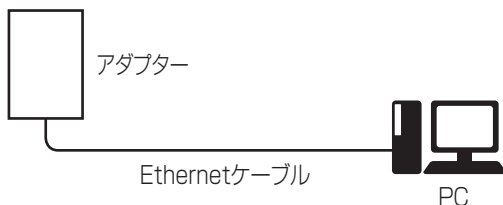
5 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレスとサブネットマスクを入力後、「OK」ボタンをクリックする

6 「閉じる」ボタンをクリックして「ローカル エリア接続のプロパティ」画面を閉じる

重要

- 「192.168.249.＊＊＊」の＊＊＊には1〜254の範囲で249以外の任意の数字を入れてください。
- Windows 7の表示方法で「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択している場合は、IPアドレスの設定手順が異なります。設定についてはWindowsのヘルプを参照してください。

■ 設定画面を表示する

PCのIPアドレスを一時的に変更したあと、設定画面を表示させたいアダプター（カメラ側アダプターまたはセンター側アダプター）とPCを直接、接続してください。なお、カメラ側アダプターは、センター側アダプターと同軸ケーブルで接続され、センター側アダプターの電源が入っている状態でPCと接続してください。

1 アダプターとPCをEthernetケーブルで接続する

重要

- すでに設置・接続済みのものの設定画面を表示させる場合は、カメラ側アダプターまたはセンター側アダプターのEthernetケーブルをPCに直接、接続してください。

2 PCでウェブブラウザーを起動する

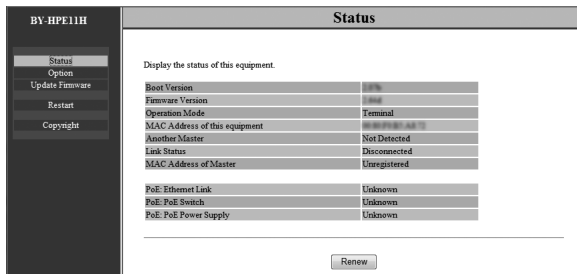
- 対応ウェブブラウザーについては、38ページを参照してください。

3 アドレス入力欄に「http://192.168.249.249/」を入力する

4 認証画面でユーザー名（User name）、パスワード（Password）を入力して「OK」ボタンをクリックする

- 工場出荷時、ユーザー名（User name）は「BY-HPE11」、パスワード（Password）は「999999」に設定しています。
- 画面はWindows 7の画面です。

5 設定画面を表示する

重要

- 設定画面での操作終了後は、PCのIPアドレスをもとに戻してください。
- 設定画面の表示や、バージョンアップは、アダプターのネットワーク端子に接続されたPCからのみ可能な仕様となっています。
  操作したいアダプターとPCを直接接続して行ってください。
- 設定画面は英語で表示されます。

＜設定画面について＞

ボタンをクリックすると該当の設定画面を表示します。

< 対応ウェブブラウザーについて >

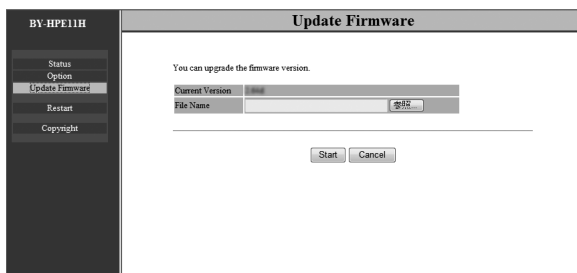
OS	ウェブブラウザー
Microsoft® Windows® 7	Internet Explorer® 8.0（日本語版）以降
Microsoft® Windows Vista®	Internet Explorer® 7.0（日本語版）以降
Microsoft® Windows® XP	Internet Explorer® 6.0（日本語版）以降

重要

- センター側アダプター、カメラ側アダプターで表示される画面は異なります。37ページは、センター側アダプターの画面です。
  それぞれの項目の詳細は40ページを参照してください。
- 続けて別のアダプターをPCに接続して設定画面を表示する場合、前のアダプターの情報（arpテーブル）が残っているために、設定画面が開かないことがあります。
  その場合は、PCを再起動する、または前のアダプターのarpテーブルを削除してください。
  arpテーブルの削除方法は、お使いのOSの取扱説明書またはヘルプをお読みください。
  例) Windows 7の場合の一例
  1. ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］でコマンドプロンプトを選択する
  2. 表示されたコマンドプロンプト画面上でキーボードから、半角文字で以下のコマンドを入力する
     arp　-d
  3. [ENTER]キーを押す

設定画面で操作する

■ バージョンアップする

最新のファームウェアでアダプターのバージョンアップができます。

1 設定画面で「Update Firmware」をクリックする

2 「参照」ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェア（下記 重要）を選択する

3 「Start」ボタンをクリックする

- 確認画面を表示します。

4 「OK」ボタンをクリックする

- バージョンアップを開始します。
- バージョンアップが完了すると、自動的に再起動します。再起動後は、バージョンアップしたファームウェアで動作します。

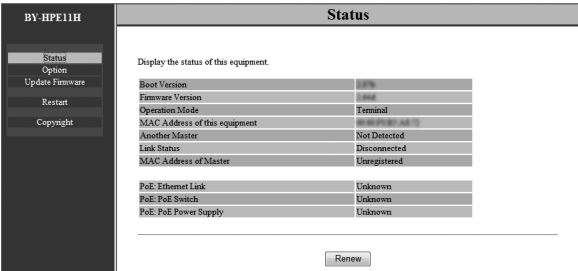
重要

- 設定画面での操作終了後は、PCのIPアドレスをもとに戻してください。
- バージョンアップが完了するまで、センター側アダプターの電源プラグは抜かないでください。
- バージョンアップ後、ファームウェアのバージョンを必ず確認してください。（40ページ）
- アダプターのバージョンアップをする場合は、PCのIPアドレスを変更する前に、最新のファームウェアをPCにダウンロードしておいてください。
  ファームウェアは、パナソニックのサポートウェブサイト（34ページ）からダウンロードできます。
- カメラ側アダプターとセンター側アダプターの両方をバージョンアップしてください。

■ アダプターの状態を確認する

アダプターのファームウェアのバージョン、MACアドレス、他のアダプターとの接続状態などを確認できます。

< ステータスを確認する >

重要

● センター側アダプター、カメラ側アダプターで表示される画面は異なります。本ページは、センター側アダプターの画面です。カメラ側アダプターの画面には「Link Status」と「MAC Address of Master」が表示されません。

1 設定画面で「Status」をクリックする

● ステータス画面を表示します。

項目	内容
Boot Version	ブートローダーのバージョンを表示します。
Firmware Version	ファームウェアのバージョンを表示します。
Operation Mode	アダプターの種類（カメラ側アダプター／センター側アダプター）を表示します。カメラ側アダプターのときは「Master」、センター側アダプターのときは「Terminal」と表示します。
MAC Address of this equipment	アダプターの MAC アドレスを表示します。

その他

項目	内容
Another Master	他のカメラ側アダプターの存在を表示します。 同一経路上に、他のカメラ側アダプターが存在する場合は「Detected」、存在しない場合は「Not Detected」と表示されます。 「Detected」の場合は、通信に影響を受けることがあります。
Link Status （センター側アダプターのみ表示）	カメラ側アダプターとの接続状況を表示します。 接続されている場合は「Connected」、接続されていない場合は「Disconnected」と表示されます。
MAC Address of Master （センター側アダプターのみ表示）	接続しているカメラ側アダプターの MAC アドレスを表示します。接続されていない場合は、「Unregistered」と表示されます。
PoE: Ethernet Link	カメラ側アダプターとネットワーク機器との接続状態を表示します。 ネットワーク機器に接続されている場合は「Link-up」、接続されていない場合は「Link-down」と表示されます。 ※センター側アダプターの設定画面では、カメラ側アダプターの情報を取得して状態を表示します。 カメラ側アダプターの情報が取得できなかった場合は「Unknown」と表示されます。
PoE: PoE Switch	カメラ側アダプターの PoE 切替スイッチの ON ／ OFF を表示します。 ※センター側アダプターの設定画面では、カメラ側アダプターの情報を取得して状態を表示します。 カメラ側アダプターの情報が取得できなかった場合は「Unknown」と表示されます。
PoE: PoE Power Supply	カメラ側アダプターの PoE 給電機能が使用可能な状態にあるかどうかを表示します。使用可能な場合は「Enable」、使用不可能な場合は「Disable」を表示します。 ※センター側アダプターの設定画面では、カメラ側アダプターの情報を取得して状態を表示します。 カメラ側アダプターの情報が取得できなかった場合は「Unknown」と表示されます。

重要

- 設定画面での操作終了後は、PCのIPアドレスをもとに戻してください。

■ アダプターの情報を変更する

設定画面に接続するためのIPアドレス、パスワードを変更できます。

< IP アドレスを変更する >

設定画面の接続IPアドレス、サブネットマスクを表示／変更します。

他のネットワーク機器とIPアドレスが競合する場合や、アダプターのIPアドレスをお使いのネットワークアドレスにあわせて使いたいときなどに、IPアドレスを変更してください。

1 設定画面で「Option」をクリックする

2 IPアドレス（IP Address）を入力して「Set」ボタンをクリックする
- 確認画面を表示します。

3 「OK」ボタンをクリックする
- 変更が完了すると再起動画面を表示します。

4 「Restart」ボタンをクリックする
- 再起動後、設定画面には変更したIPアドレスで接続してください。

重要
- 設定画面での操作終了後は、PCのIPアドレスをもとに戻してください。
- IPアドレスやサブネットマスクなどをご利用の環境に合わせて設定してください。
- センター側アダプター、カメラ側アダプターで表示される画面は異なります。本ページは、カメラ側アダプターの画面です。

< パスワードを変更する >

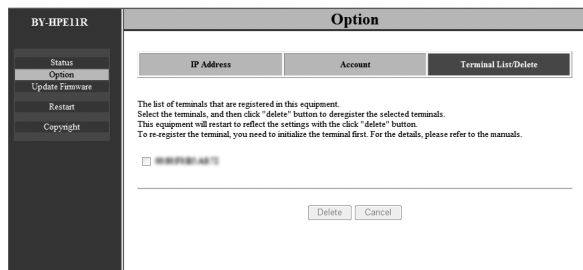
1 設定画面で「Option」ー「Account」をクリックする

2 パスワード（Password）を入力して「Set」ボタンをクリックする
- 確認画面を表示します。

3 「OK」ボタンをクリックする
- 変更が完了すると再起動画面を表示します。

4 「Restart」ボタンをクリックする
- 再起動後、設定画面は変更したパスワードで開いてください。

重要
- 設定画面での操作終了後は、PCのIPアドレスをもとに戻してください。
- セキュリティ強化のために、パスワードは変更してください。
- 変更したパスワードは忘れないように、メモしてください。
  パスワードを忘れた場合は、アダプターのINITIAL SETボタンを押して初期化 (32ページ)すると、パスワードが工場出荷時の値（999999）に戻ります。再度パスワードを設定してください。
  初期化すると、登録情報もすべて削除されます。
  パスワードについては、自己の責任で適正に管理してください。
- センター側アダプター、カメラ側アダプターで表示される画面は異なります。本ページは、カメラ側アダプターの画面です。
- パスワードで使用できる文字は半角英数字 (A-Z、a-z、0-9) のみです。
- 大文字、小文字は区別されます。
- [space]、[“]、[‘]、[&]、[<]、[>] は使用できません。
- 6文字以上、12文字以下で設定してください。
- ユーザー名は変更できません。

< センター側アダプターの MAC アドレスを表示する（カメラ側アダプターのみ）>

1 設定画面で「Option」－「Terminal List/Delete」をクリックする

- センター側アダプターのMACアドレスが表示されます。

 ※「Delete」ボタン、「Cancel」ボタンおよびチェックボックスは操作できません。

重要

- 設定画面での操作終了後は、PCのIPアドレスをもとに戻してください。
- センター側アダプターのMACアドレスは本体の底面に記載されています。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●インジケーター表示について

症　状	原因・対策	参照ページ
すべてのインジケーターが点灯しない	● センター側アダプターの電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない。 →電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。	30
カメラ側アダプターのみインジケーターが点灯しない	● 同軸ケーブルが接続されていない。 →本機に同軸ケーブルが接続されているか、同軸ケーブルが長過ぎないか（2.0 km以内）、破損や断線などの接続不良がないか確認してください。	28、29
カメラ側アダプターのLINKインジケーターが赤点灯する	● 本機の故障でデータ伝送ができない。 →お買い上げの販売店にご連絡ください。	—
センター側アダプターのPOWERインジケーターが緑点滅する	● 同軸ケーブルにカメラ側アダプター以外の機器がつながっている可能性があります。 →カメラ側アダプターの接続を確認してください。	28、29

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
センター側アダプターのLANインジケーターがオレンジ点灯する	● ネットワーク端子に何も接続されていない。 →ネットワーク機器をEthernetケーブルで接続すると、緑点灯になります。 ● ネットワーク端子に接続したネットワーク機器の電源が入っていない。 →ネットワーク機器の電源を入れてください。 ● ネットワーク端子とネットワーク機器がEthernetケーブルで接続されていない。 →Ethernetケーブルが接続されているか、破損や断線などの接続不良がないか確認してください。	29
センター側アダプターのCOAXIALインジケーターが点灯しない	● センター側アダプターの電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない。 →電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。 ● 同軸ケーブルが接続されていない。 →本機に同軸ケーブルが接続されているか、同軸ケーブルが長過ぎないか（2.0 km以内）、破損や断線などの接続不良がないか確認してください。 ● カメラ側アダプターが接続されていない。 →同軸ケーブルでカメラ側アダプターとセンター側アダプターを接続してください。	30 29
センター側アダプターのCOAXIALインジケーターが赤点灯する	● 本機の故障でデータ伝送ができない。 →お買い上げの販売店にご連絡ください。	―

症　状		原　因　・　対　策	参照ページ

●通信速度について

症　状		原　因　・　対　策	参照ページ
速度測定時にすべてのインジケーターが消えている 1つまたは2つしかインジケーターが点灯していない	▶	● 設置環境などの影響を受け、十分な通信速度が確保できていない。 →故障ではありません。ネットワークカメラの映像が映らないなど、使用上の問題がないか確認してください。 →同軸ケーブルの種類や長さおよび強い電波を発する機器が近くにないかなどの接続状態を確認してください。	―

●PoE給電機能について

症　状		原　因　・　対　策	参照ページ
カメラ側アダプターに接続したネットワークカメラが動かない	▶	● 接続距離が長い。 →同軸ケーブルの長さが500 mを超えると、本機のPoE給電機能が使えなくなります。 →Ethernetケーブルは、PoE規格に対応しているか(26ページ)、正しく接続されているか、破損や断線などの接続不良がないか確認してください。 ● Ethernetケーブルをすばやく抜き差しした。PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。 →Ethernetケーブルを2秒以上の間隔をあけて抜き差ししてください。	―

症　状		原　因　・　対　策	参照ページ
設定画面のstatusのPoE: PoE Power Supplyが「Disable」になってPoE給電機能が使用可能な状態にならない	▶	● 設定画面のstatusのPoE: Ethernet Linkが「Link-down」になっている。 →カメラ側アダプターとネットワークカメラなどのネットワーク機器がEthernetケーブルで接続されているか、ネットワーク機器に電源が入っているか確認してください。また、Ethernetケーブルの破損や断線などの接続不良がないか確認してください。	27
		● 設定画面のstatusのPoE: PoE Switchが「OFF」になっている。 →カメラ側アダプターのPoE切替スイッチをONにしてください。	16
		● センター側アダプターからカメラ側アダプターへ電力供給が正常にできない。 →同軸ケーブルの長さが500 mを超えると、本機のPoE給電機能が使えなくなります。 →同軸ケーブルの線路抵抗値が大きいと、本機のPoE給電機能が使えない場合があります。	28

● その他

症　状		原　因　・　対　策	参照ページ
アダプターが暖かい、熱を持っている	▶	● 異常ではありません。 （夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります。） →異常に熱いときは、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

その他

ライセンスについて

本機にはthttpd-2.25b、OpenSSL、SSLでライセンスされるソフトウェアが含まれています。**義務に従いライセンスを記載しています。**

LICENSE ISSUES

This product uses some parts of thttpd-2.25b, OpenSSL, SSL.
The use of parts described above are based on the license below.

<OpenSSL>
==
Copyright (c) 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT,INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT

NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
STRICT LIABILITY, OR TORT(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==
Some parts of the OpenSSL are provided with the following copyright
notices with license noted above.

Some parts of the OpenSSL are provided with the following notice.
==
rijndael-alg-fst.c

@version 3.0 (December 2000)

Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

This code is hereby placed in the public domain.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS ''AS IS'' AND ANY EXPRESS
OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE
LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE
OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==

<SSL>
==

This package is an SSL implementation written
by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as

the following conditions are aheared to. The following conditions
apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
included with this distribution is covered by the same copyright terms
except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or
in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software
   must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by
   Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
   being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
   the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or
derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]
==

<thttpd-2.25b>

==

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==

Some parts of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices with license noted above.

Some parts of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices and license.

==

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are

duplicated in all such forms and that any documentation,
advertising materials, and other materials related to such
distribution and use acknowledge that the software was developed
by the University of California, Berkeley. The name of the
University may not be used to endorse or promote products derived
from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR
IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
===

仕様

●ハードウェア仕様

センター側アダプター(BY-HPE11H)

使用環境	温度：0 ℃〜50 ℃ 湿度：20 %〜85 %（結露なきこと）
インターフェース	10Base-T/100Base-TX × 1 AUTO MDI/MDI-X　ACインレット BNC端子
寸法	幅 約105 mm　高さ 約44 mm　奥行き 約210 mm （突起部含まず）
質量	約 570 g
電源	AC 100 V　50 Hz/60 Hz
消費電力	最大 約 28 W（カメラ側アダプターの消費電力含む）
同軸ケーブル 供給電力	最大 22 W

カメラ側アダプター(BY-HPE11R)

使用環境	温度：−10 ℃〜50 ℃ 湿度：20 %〜90 %（結露なきこと）
インターフェース	10Base-T/100Base-TX × 1 AUTO MDI/MDI-X（PoE対応） BNC端子
寸法	幅 約80 mm　高さ 約115 mm　奥行き 約35 mm （取付部含まず）
質量	約 165 g
電源	独自給電方式（センター側アダプターより同軸ケーブル経由でDC 55 V給電）
消費電力	センター側アダプターの消費電力に含まれる
PoE供給電力	最大 15.4 W※

※ PoE供給電力については、56ページを参照してください。

●同軸インターフェース

規格	Panasonic独自方式
周波数帯域	2 MHz～28 MHz
伝送方式	Wavelet変換OFDM方式
アクセス方式	CSMA/CA
エラー訂正方式	リードソロモンとビタビの連接符号

●LANインターフェース

規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠 （10Base-T/100Base-TX）
MDI/MDI-X	クロス/ストレートケーブル自動認識
データ転送速度	10 Mbps/100 Mbps（オートセンス）
ポート数	1ポート（RJ-45コネクター）
対応プロトコル	TCP/IP/UDP
アクセス方式	CSMA/CD

●接続に関する仕様

通信可能な アダプター数	1台のセンター側アダプターに対して、1台のカメラ側 アダプターが同軸ケーブルを介して接続可能
接続可能機器	センター側アダプター：10Base-T/100Base-TXの インターフェースを備えた機器 カメラ側アダプター：当社製指定ネットワークカメラ※
接続可能機器数	センター側アダプター、カメラ側アダプターともに 1セグメント内　最大256台まで

※パナソニックのウェブサイト（2ページ）を参照してください。

●設定画面に関する仕様

対応OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
ウェブブラウザー	Internet Explorer 6.0、7.0、8.0（日本語版）以降

●性能に関する仕様

通信速度[※1]（UDP）	45 Mbps以上（同軸ケーブル5C-2V使用時、通信距離2.0 km以下）
通信速度[※1]（TCP[※2]）	35 Mbps以上（同軸ケーブル5C-2V使用時、通信距離2.0 km以下）
最大通信距離	PoE給電機能なし：2.0 km PoE給電機能あり：500 m（当社製指定ネットワークカメラ使用時） 300 m（Class0規格のネットワークカメラ使用時）

※1　この値はBY-HPE11H、BY-HPE11R 間の通信速度です。（同軸ケーブル5C-2V使用時）通信速度は、同軸線の状態、ネットワーク環境などの影響を受けます。この値は、影響を受けていない状態での測定値です。
※2　Linux のFTPでの測定値です。

●最大通信距離、PoE供給電力について（同軸ケーブル5C-2V使用時）

最大通信距離（m）	300	500	1,000	1,500	2,000
PoE供給電力	15.4 W[※1]	12.0 W[※2]	PoEでの電力供給不可[※3]		

※1　カメラ側アダプター（BY-HPE11R）にIEEE802.3af準拠（Alternative B, class0）のネットワークカメラを接続した場合
※2　カメラ側アダプター（BY-HPE11R）に当社製指定ネットワークカメラを接続した場合。当社製指定ネットワークカメラの情報については、パナソニックのウェブサイト（2ページ）を参照してください。
※3　PoE切替スイッチを「OFF」にしてください。

●別売り

ラックマウント金具　　YBSKG024

ラックマウント用連結金具　　BY-HCA10

その他

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注） 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

45～48ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を切ってお買い上げの販売店へご連絡ください。

● **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	PoE給電機能付　同軸–LANコンバーター
品　番	BY-HPE11KT
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、１年に１回をめやすに、販売店または施工業者による点検をお勧めします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
●本機を使用せずに放置している。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。
●取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ●取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ●本機および取付部に破損や著しいさびがある。		事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音※が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

■ 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

Exporting this product and/or its technology from Japan is restricted by the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When this product and/or its technology are exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	BY-HPE11KT
販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

PNQX2639YA　NM0310YF1050

Panasonic®　PoE給電機能付　同軸-LANコンバーター　BY-HPE11KT　取扱説明書